

## 感染者が発生した場合の小中学校の対応

児童生徒・教職員（当該校のバンビホーム支援員を含む）等の症状	児童生徒及び教職員（当該校のバンビホーム支援員を含む）	当該校の対応
①感染した場合	入院等	※休業（消毒や濃厚接触者の特定に必要な期間 概ね5日間程度）
②濃厚接触者の場合	<p>感染者との最終接触から14日間 自宅待機 (本人のPCR検査後、結果を確認)</p> <p>PCR検査（陽性）⇒本人が感染者となる⇒①の対応 PCR検査（陰性）⇒14日間の自宅待機後、通常の生活へ戻る</p>	通常授業
③同居の家族が濃厚接触者	<p>同居の家族のPCR検査結果が出るまで 自宅待機</p> <p>PCR検査（陽性）⇒本人が濃厚接触者となる⇒②の対応 PCR検査（陰性）⇒通常の生活へ戻る</p>	
④発熱・咳など風邪症状がある場合 または①②には該当しないがPCR検査を受けた場合	<p>自宅療養 (解熱、呼吸器症状の改善及びPCR検査の結果等を確認)</p>	

※学校臨時休業については、感染者における活動の態様、接触者の多寡、地域における感染拡大の状況、感染経路の明否等を確認しつつ、これらの点を総合的に考慮し、保健所と十分に相談の上、その必要期間、規模（学級、学年、全校など）を判断する。